

幾何入門 演習問題 5 (2012 年 5 月 17 日)

担当：境 圭一

1. 領域 $\Omega := \{(x, y) \in \mathbb{R}^2 \mid |x| + |y| \leq 1\}$ を図示せよ. $\ell: \mathbb{R} \rightarrow \mathbb{R}^2$ を

$$\ell(t) := \begin{cases} (-2t + 4n + 1, 1 - |-2t + 4n + 1|) & 2n \leq t \leq 2n + 1 \\ (2t - 4n - 3, -1 + |2t - 4n - 3|) & 2n + 1 \leq t \leq 2(n + 1) \end{cases}$$

(ただし n は全ての整数を動く) で定めると, ℓ は Ω の境界 $\partial\Omega$ を表す区分的に正則な閉曲線で, Ω に適合した向きを定めていることを確かめよ. また ℓ の周期を求めよ. (ヒント: $n = 0, 1$ のときを考えてみよ)

2. 領域 $\Omega_a := \{(x, y) \in \mathbb{R}^2 \mid (x - a)^2 + y^2 \leq 1\}$ を考え, 境界 $\partial\Omega_a$ を表す曲線 $\ell_a: \mathbb{R} \rightarrow \mathbb{R}^2$ を $\ell_a(t) := (\cos t + a, \sin t)$ で定める (この ℓ_a は Ω に適合した向きを定めている).

(1) ℓ_a の周期 T を求めよ.

(2) $\ell_a(t) \in \partial\Omega$ において, Ω の内側から外側に向かう単位法ベクトル $\mathbf{n}_a(t)$ を求めよ.

(3) Ω_a 上のベクトル場 $\mathbf{V}(x, y) := (x^2, y^2)$ に対し, 線積分

$$\int_0^T \mathbf{V} \cdot \mathbf{n}_a \, dl_a := \int_0^T \mathbf{V}(\ell_a(t)) \cdot \mathbf{n}_a(t) \left| \frac{d\ell_a}{dt}(t) \right| dt$$

を求めよ (3 倍角の公式 $4 \cos^3 t = \cos 3t + 3 \cos t$, $4 \sin^3 t = -\sin 3t + 3 \sin t$ を用いよ)

(4) (3) の値が 0 になるような a を求め, 線積分が 0 になる「物理的な」理由を考えよ.

レポート問題 5 (5/24 の講義の最初までに提出してください)

(信州大学理学部・平成 24 年度) $|x| \leq 1$ で定義される二つの関数

$$f(x) = \sqrt{|x|} + \sqrt{1 - x^2}, \quad g(x) = \sqrt{|x|} - \sqrt{1 - x^2}$$

を考える.

(1) $x = 0, x = \pm 1$ における $f'(x)$ と $g'(x)$ の挙動に注意して, 関数 f, g のグラフの概形を描け. 変曲点, 凹凸は調べなくてよい.

(2) f, g のグラフで表される曲線をうまくパラメータ付けして正則な閉曲線にできるか?